

イノシシのくぐり抜けを防止する侵入防止柵の補強方法

○侵入防止柵の接地部を直管パイプで補強することで、イノシシのくぐり抜けを防止しましょう。

背景

- ワイヤーメッシュによる侵入防止柵は電気柵と並んで全国的に普及している柵であり、個人の農地を囲うだけでなく、地域を囲う広域柵としても利用されている。
- ワイヤーメッシュは被害低減効果を有するが、イノシシはワイヤーメッシュの地際部分を押し下をくぐり抜けることがほとんどである。



← イノシシによる
ワイヤーメッシュの
くぐり抜け痕跡



適用範囲

- 全国のイノシシの被害を受けている農地
- 全国のイノシシ、シカの侵入防止のための広域柵を設置している地域

資材費

1mあたり220円程度
(直管パイプ、結束バンド)

作業時間

1mあたり1分～1分30秒程度

補強方法

- 金網等の侵入防止柵の接地部分にビニールハウス用資材の直管パイプをつなげて、地面に這わせるように金網と一体化させる。
- 接地部分の補強によって、70kg重(イノシシがものを押す最大力量と同程度)の力量を加えても破壊されない。



(森林側)

(農地側)

- ★農地の凹凸が多く直線的な金属パイプが設置できない場合、緊張具によりテンションをかけた金属ワイヤーロープとペグを利用することで、同様の効果が期待できる。
- ★直管パイプをペグで地面に固定すればさらに強度は増す。
- ★潮風のある地域や融雪剤が撒かれる地域で使用すると、亜鉛メッキの柵に塩基が反応し塩化亜鉛となり、ナイロン66の結束バンドが化学反応を起こし破断してしまう→耐候性ポリプロピレンの結束バンドを使用。

詳細情報

農研機構「西日本農業研究センター2016年成果情報」
https://www.naro.affrc.go.jp/project/results/4th_laboratory/warc/2016/16_055.html

資料作成協力：農研機構